



ゆう&あい

10月号
平成25年
9月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

今年もありがとうございます 交流ペタンク大会



去る9月3日(火)、ゆうあい園では、今年も播磨町ペタンク協会の皆さんよりご招待をいただき、交流ペタンク大会に参加しました。この催しも今年で26回目を迎えました。

26年の長きにわたり参加させていただくことが出来ますのは、ひとえに播磨町ペタンク協会の皆様の様々なお配慮と温かいご声援のおかげと感謝しています。

園生のみんなも、球を投げるのを楽しんでいたのが、1年1年の積み重ねにより、最近では、勝負にこだわる姿が多くなってきました。来年も頑張るぞ！



ゆうあい園とライズアップからのお知らせ

ゆうあい園と地域活動支援センター「ライズアップ」(特定非営利活動法人アエソン 運営)の2施設で、8月23日(金)、播磨町役場の東側入口で、各施設のオリジナルの手作り品を持ち寄り、お店を開かせていただきました。これからも、毎月1回、第2金曜日の11時30分から12時30分の間、播磨町役場で出店しますので、町内の皆さん、ぜひ、お立ち寄りください。



寄付者ご芳名

あたたかい善意をありがとうございました。
(平成25年8月9日～平成25年9月6日)
(所得税法第78条第2項第3号該当
法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当)

●福祉のために

地区名	氏名	金額
宮西	匿名	3,500円
大東	匿名	5,000円
気仙沼市	匿名	30,000円

(団体の部)

地区名	金額
兵庫県宅地建物取引業協会 加古川支部	9,819円

●今月の払出状況

子どものいない老人誕生祝い	18,000円
旅人へ(3名)	1,500円

宮城県気仙沼市にお住まいのご夫婦が来町され、東日本大震災の後、家の前の畑のがれきの除去で「播磨町の方にもお世話になったので」と、播磨町の福祉のために、寄付金をお届けくださいました。

伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712
E-Mail info@harima-wel.or.jp

心配ごと相談

秘密厳守

- 日時 毎週火曜日 13時～16時
- 場所 福祉しあわせセンター

法律相談

弁護士により
月1回、実施します。
成年後見制度のご相談も
お受けします。
◎法律相談をご希望の方は、事前に
心配ごと相談をお受けください。

ボランティア募集

ボランティアセンターでは、毎週木曜日に実施する高齢者給食サービスにかかわっていただけのボランティアを募集しています。

(1)添乗ボランティア

高齢者のお宅へお弁当を届けてくださる方
月1回～2回程度(木曜日)
午後3時20分頃から午後5時頃まで

(2)給食調理ボランティア

高齢者の為のお弁当づくりに協力してくださる方
月1～2回程度(木曜日)
午後1時前後から午後4時頃まで

『緑のカーテン』情報 その3

ゴーヤではない「謎の植物X」、8月の終わりに急激に成長し、写真のように、やっと緑のカーテンらしくなりました。“めでたし、めでたし”と思いきや、雨・雨・大雨の日々が続き、「謎の植物X」は、さながら「雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ」の様相を呈し、しあわせセンターを守っていました。連日の雨があがると、空は秋空、陽ざしもやさしくという状況。トホホホホ。

「謎の植物X」は花を咲かせるそうなのですが、本当に咲くのかとまたもや悩める担当者の姿。



福祉相談

- 日時 10月2日・9日・16日・23日・30日(水)
13時30分～16時
- 場所 福祉しあわせセンター
民生委員・児童委員が
ご相談をお受けします。

困りごと相談

秘密厳守

- 日時 10月10日・24日(木)
13時～15時
- 場所 福祉しあわせセンター
播磨町人権擁護委員が
ご相談をお受けします。

おもちゃルーム “きらきら”

い～っぱいのおもちゃで遊ぼう
10月の開設日

- 日時 10月3日(木)・19日(土)
10時～12時
- 場所 播磨町福祉会館

知的障害者(児)相談

- 日時 第2土曜日
10時～11時30分
- 場所 石ヶ池パークセンター



子育て相談

- 日時 10月28日(月)
13時30分～16時
- 場所 福祉しあわせセンター
主任児童委員が
ご相談をお受けします。

認知症家族の会

外出企画

- 日時 10月12日(土)
13時30分～15時30分
- 場所 野添北公園 蓬生庵
※雨天中止

第6回 福社会館文化祭

日時：平成25年10月22日(火)午前10時～午後4時

【発表の部】

時 間	出演団体・サークル等	内 容	会 場
10:00～16:00	ロ ー ズ マ リ ー 農 園	ハーブ石鹸等手作り体験	健 康 相 談 室
	茶 道 部	茶道(お茶席券 別途販売)	集会運動指導室
10:00～10:20	大 正 琴 ア ン ダ ン テ	大 正 琴	3 階 会 議 室
10:20～11:10	フ ォ ー ク ダ ンス サ ー ク ル	フ ォ ー ク ダ ンス	
11:10～11:50	明 楊 会 播 磨	太 極 拳	
11:50～13:20	詩 吟 同 好 会	詩 吟	
13:20～14:10	太 極 柔 力 球 サ ー ク ル	太 極 柔 力 球	
14:10～15:10	秀 奥 会 民 謡 サ ー ク ル	日 本 民 謡	
15:10～15:30	ハ リ マ ホ イ ホ イ フ ラ	フ ラ ダ ン ス	

【展示の部】

時 間	出展団体・サークル	内 容	会 場
10:00～16:00	書 道 サ ー ク ル	書 道	生 活 指 導 室 診 察 室 栄 養 指 導 室
	手 描 き 友 禅 同 好 会	手 描 き 友 禅	
	親 子 ふ れ あ い サ ー ク ル	子 ども の 絵 画・造 形	
	ビ ー ナ ス (絵 画 同 好 会)	絵 画	
	生 け 花 教 室	生 け 花	
	折 紙 同 好 会	折 紙	
	播 磨 町 社 会 福 祉 協 議 会	事 業 紹 介	

【バザーの部】

時 間	出展団体・サークル	内 容	会 場
10:00～16:00	ボ ラ ン テ ィ ア あ す な ろ	手 作 り 品 等 の 即 売	1 階 ロ ビ ー
	ゆ う あ い 園	手 作 り 品 の 即 売	正 面 玄 関
	播 磨 町 陶 芸 サ ー ク ル	手 作 り 陶 芸 品 の 即 売	

主 催
福社会館文化祭実行委員会
播磨町社会福祉協議会

後 援
播 磨 町

問 合 せ
播磨町福祉会館
TEL 079-437-3221



福社会館は、山陽電鉄「播磨町駅」の南、播磨小学校の体育館に隣接する3階建ての建物です。住民の福祉の増進、文化の振興を図り、各種集會に利用していただくことを目的とした建物です。入浴施設もあり、高齢者の方等がお風呂に入り、くつろいでいただけるスペースもあります。また、大小様々な会議室があり、部屋の貸出も行っていますので、グループや団体の会合や研修会、趣味のサークルの活動場所として、ぜひご利用ください。



じぶんの町を良くするしくみ。

平成25年度目標額

3,628,000円

地域に必要な福祉活動やボランティア活動などを応援します！
県内の福祉施設や団体、NPOなどの事業を応援します！
いつ、どこで起こるかわからない大規模な災害に備えています！

☆共同募金とは？

共同募金は、地域福祉の推進を目的として社会福祉法に定められた計画募金です。計画募金とは、あらかじめ地域福祉関連の活動をしたい団体から申請を受け付け、配分先を予定したうえで行う募金のことで、共同募金の責任と役割の重要性を端的に表す共同募金の大きな特徴となっています。

共同募金運動は、戦後間もない昭和22(1947)年にスタートし、社会福祉施設・団体への機器整備や事業費への配分、さらには、ボランティア活動など地域の草の根活動や災害時のボランティア活動支援など民間の社会福祉事業を力強く支えてきています。



☆配分された募金を何に使っているの？

例えば、平成24年度の播磨町で集まった募金実績に基づき、平成25年度、地域福祉配分金として播磨町社協に2,985,000円が配分され、播磨町社協では、下記の事業計画をもとに、播磨町の福祉力向上のために活用させていただいています。

高齢者の福祉のために 1,657,000円

- ◆給食サービス等の在宅福祉活動
- ◆ふれあいいきいきサロン等の社会参加活動
- ◆ひとり暮らし高齢者の会等の団体援助活動

子どもの健全育成のために 130,000円

- ◆小学校等の福祉体験学習の援助活動
- ◆子ども会等の団体援助活動



障がい者の福祉のために 140,000円

- ◆点訳等のボランティア活動
- ◆障害者団体・当事者組織の支援

広報・啓発のために 1,058,000円

- ◆広報誌の発行等の広報・調査活動
- ◆各種団体の援助活動

記録的な猛暑と豪雨に見舞われ、異常気象と言われた今年の夏も過ぎ去り、ようやく過こしやうしい時期が訪れようとしています。

先日、日本中に歓喜をもたらす良いニュースが飛び込んできました。2020年夏季オリンピックの開催地が東京に決定しました。

前回の開催は1964年ですから、およそ半世紀前ということになります。当時を記憶している世代の方も、まだ生まれていなかった世代の方も、7年後にやってくる夢の舞台にいろいろな想いを馳せるのではないのでしょうか。

このオリンピック招致の活動は、『スポーツの力』を全世界に訴えかけるものでした。スポーツには人々が夢や感動を持ち、元氣や活力を取り戻すことを手助けする力がある、それは、東日本大震災の復興の過程を通して、強く印象づけられたことである、と。

そして日本中がひとつになり、今、ニッポンにはこの夢の力が必要だ。と感じたからこそ、五輪招致を実現できたのです。さて7年後、そこにはどんな私がいて、どんな場所とどんな事をしていようか。

どんな形で迎えるにしても、それまでの一日、一日をしっかりと歩んでいきたいと思っています。

(三)

ほのぼのの便り

播磨町地域包括支援センター